

「日中植林・植樹国際連帯事業」
ネパール青少年招へい事業（高校生）
訪問日程 2016年9月10日（土）～9月17日（土）

1. プログラム概要

9月10日から17日まで、日中植林・植樹国際連帯事業の一環として、ネパールの高校生等21名が訪日しました。

ネパール青少年招へい事業は、2015年に大地震を経験したネパールから、被災した学生及び防災関連分野を専攻している学生を招へいし、環境・防災意識の啓発を図るとともに、両国交流の記念として植樹を行うことを目的とした事業です。

一行は、東京を訪問した後、愛媛へ移動し、環境関連施設の訪問等を行い、防災への理解を深めました。また、地元の大学との交流等を行い、訪問地の魅力を多角的に体験する機会を持ち、日本への理解を深めました。

2. 日程

別添のとおり

3. 写真



9月10日 オリエンテーション



9月11日 パナソニックセンター東京参観



9月14日 愛媛大学 防災講演会「ネパールと日本の防災を学ぶ」、意見交換会



9月14日 松山市消防防災センター視察、一日防災体験



9月14日 松山アーバンデザインセンター
視察「まちづくりについて学ぶ」



9月14日 愛媛大学 文化交流会



9月15日 石手川ダム視察



9月15日 植林活動



9月16日 二階俊博衆議院議員（日本・ネパール友好国会議員連盟会長）表敬訪問



9月16日 報告会

4. 参加者の感想（抜粋）

(1)

1. ホームステイ：

- ・日本の歴史、習慣、文化、慣習、ご飯の食べ方、お客様へのおもてなしなどを学ぶことが出来ました。短い時間でしたが日本人々との触れ合いを通じて、沢山愛情と激励をもらいました。

- ・ネパールに帰ったら、ホームステイを提供し、お客様に美味しい食事を差し上げるといったおもてなしをする気持ちを持ちたいと思っています。

2. 日本で見えて驚いたこと：

- ・ダム、松山城、お風呂・温泉に入る習慣、色々な料理の食べ方、高層ビル、時間の上手な使い方など。
- ・私もネパールへ帰って時間を上手に使いたいと思っています。

3. 地震：

- ・地震が発生する前の準備と、地震が発生したら自分の身を守るために必要な行動をとることがとても大事なことだと思いました。また、地震に巻き込まれた人々を救助したり、お世話や相談に乗ったりすることはとても良いと思いました。
- ・ネパールへ帰って、地震に関する理解を高めるような芝居、教育、訓練をしたいと考えています。

4. 洪水・土砂災害：

- ・森林を伐採することは、土砂崩れや洪水などの原因にもなり、大きな損害につながるようになります。それを避けるためには山の空地に植林活動を行うこと、森林保全をしっかりとやること、こうした話はとても勉強になりました。
- ・私はネパールへ帰ったら、人々の力を借りて山の空地に植林活動や森林保全活動を行うつもりです。

(2)

1. ホームステイ：

- ①日本人の、お客様を尊敬しおもてなしする習慣はとても良いと思いました。
- ②時間を上手く使う習慣がとても良いと思いました。
- ③日本全国どこでも綺麗に保たれていることがとても良いと思いました。
- ・日本人が私たちにどういう風にお客様をおもてなしするかを教えてくださいました。我々が学んだことを母国でもできればと思っています。
- ・時間の上手な使い方を伝えたいです。
- ・私たちも、掃除の大切さを理解し、掃除する習慣をつけたいです。

2. 地震：

- ・地震が発生する前の準備、地震発生後の注意事項と対策について学びました。
- ・突然発生する震災に、パニックにならないで冷静に行動を取ることが大切だということを学びました。
- ・帰国したら、震災の時はどうやって自分と周りの人の身を守るのかについて、学校や色々な少年団体などに教えたいです。

3. 洪水・土砂災害：

洪水や土砂災害の発生を防ぐには森林が大変重要であるということが分かりました。そのためには植林をしなければならないということを私は母国に戻って伝えたいです。

(3)

1. 地震：

- ・地震が発生する前から必要な準備をすること、地震が発生したら自分の身を守り、周りの人を助けることの大切さを知りました。
- ・自分が住んでいる場所の地理的構造を理解することは大変重要であることが分かりました。
- ・ネパールへ帰って社会や村で地震に関する知識を広げたいです。

2. 洪水・土砂災害：

洪水や土砂崩れを防ぐには植林が不可欠であるということが分かりました。母国でも植林のキャンペーンを行いたいと思っています。

3. ホームステイ：

日本のライフスタイル、慣習、食事のし方やお客様に対するおもてなしなどが良いと思いました。日本の滞在は短い間でしたが、思いやる気持ちは、国が違っても同じであるような気がしました。色々な料理を合わせて食べる方法が良いと思いました。ネパールに帰ったら、ホームステイを受け入れて、日本のようにお客様をおもてなししたいと思っています。

4. 掃除：

自宅、道路などの掃除をする必要があります。その結果、病気にかかりにくくなります。日本でこのようなことを知りました。私はネパールに帰ったら、自宅や近所の掃除をしたいと思っています。そして、多くの人々にも掃除をしてほしいと思っています。

(4)

1. ホームステイ：

- ①色々な料理を合わせて食べる方法が良いと思いました。
- ②日本人のお客様に対するおもてなしがとても良いと思いました。
- ③ネパールへ帰国してから、自分の村へ戻って観光客のおもてなしを日本式でやりたいと思っています。

2. 地震：

- ・地震が発生する前に講じる対策がとても良いと思いました。
- ・自分が住んでいる地域の地理的構造を理解する必要があることを知りました。
- ・震災が突然発生してもパニックにならず冷静に行動を取る必要があるということを理解しました。
- ・ネパールに帰って、村と社会で地震対策に関する知識を広げたいです。

3. 洪水・土砂災害：

- ・洪水や土砂崩れを防ぐには植林が不可欠であるということが分かりました。自分も植林のキャンペーンを行いたいと思っています。
- ・時間の使い方がとても良かったです。
- ・周りの環境を綺麗にする必要があります。
- ・我々はネパールに帰ってから、掃除のキャンペーンを行うつもりです。

(5)

- ・自分が住んでいる所の地理的構造を理解し、その情報を活用しながら自分の命を守るために、前もって訓練をする必要があります。災害時はパニックに陥らず冷静に前へ進むべきであることを学びました。
- ・貯水方法や雨季の雨水を貯めておき、干ばつ期の飲料水の確保や灌漑に利用することについて学ぶ機会を頂きました。
- ・植林は自然を守るという意味になる。そして、自然を守ることは自分を守ることになるのだということを学びました。
- ・お客様に敬意を払うことの大切さについて学びました。

「日中植林・植樹国際連帯事業」
ネパール青少年招へい事業(高校生) 日程

日時			活動内容	訪問地
9/10	土	午後	羽田空港着(KA191 カトマンズ発23:00- 香港着7:25、 CX543 香港発8:45- 羽田着13:55)	東京
		午後	オリエンテーション	
9/11	日	午前	江戸東京博物館参観	東京
		午後	パナソニックセンター東京参観	
9/12	月	午前	愛媛へ移動	東京／愛媛
		午後	農林漁家民宿	
9/13	火	午前	農林漁家民宿	愛媛
		午後	松山城参観	
9/14	水	午前	愛媛大学 防災講演会「ネパールと日本の防災を学ぶ」、 意見交換会	愛媛
		午後	松山市消防防災センター視察、 一日防災体験	
			松山アーバンデザインセンター視察「まちづくりについて学ぶ」	
			愛媛大学 文化交流会	
9/15	木	午前	石手川ダム視察	愛媛／東京
			植林活動	
		午後	松山市内散策	
			東京へ移動	
9/16	金	午前	二階俊博 衆議院議員表敬訪問	東京
		午後	報告会	
9/17	土	午前	羽田空港より帰国 (CX543 羽田発10:35-香港着14:10、 KA104 香港発19:10-カトマンズ着21:55)	